

2027年度 大阪公立大学

＜工学部 建築学科＞

小論文問題

解答時間 150分

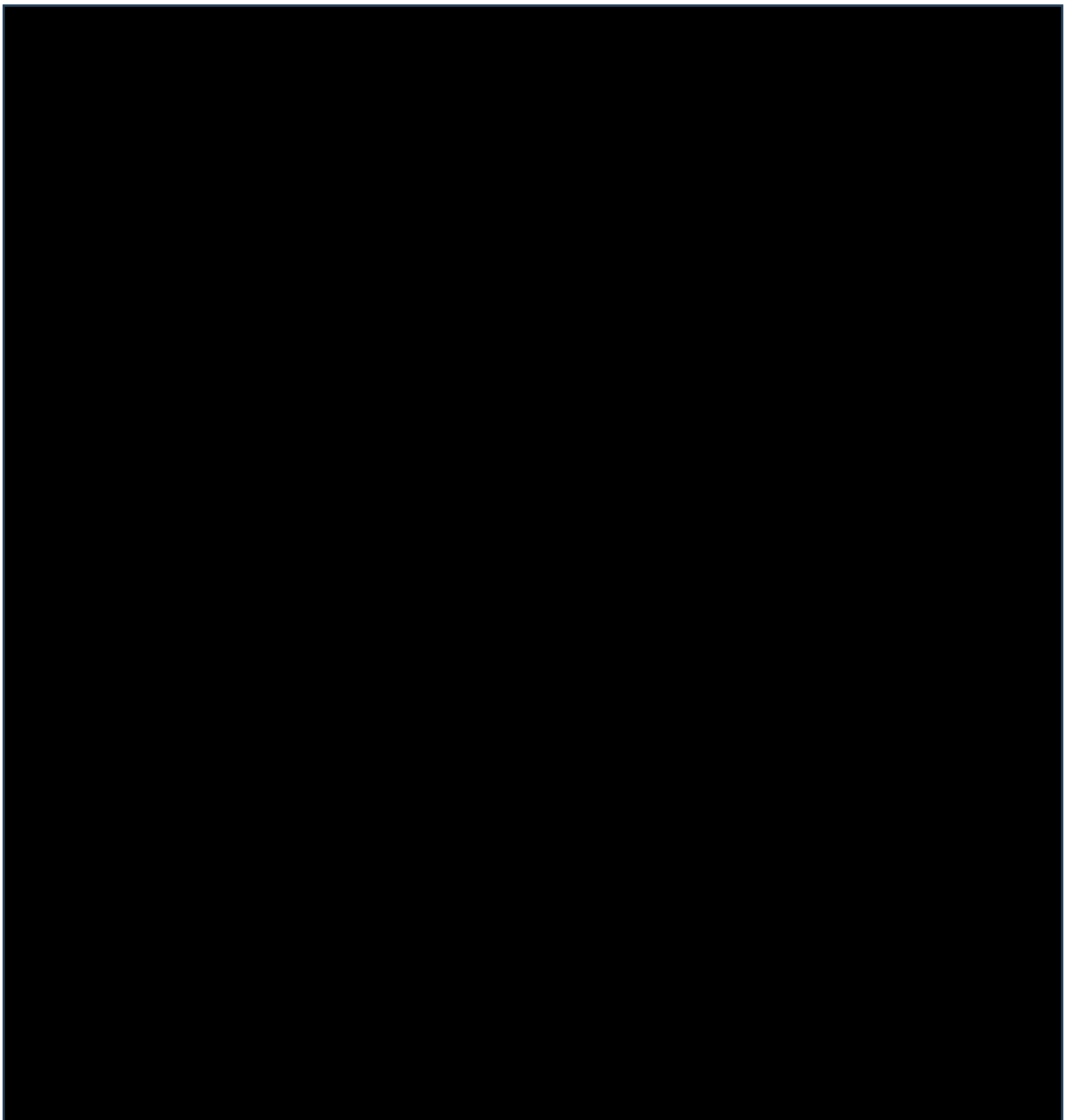
注意事項

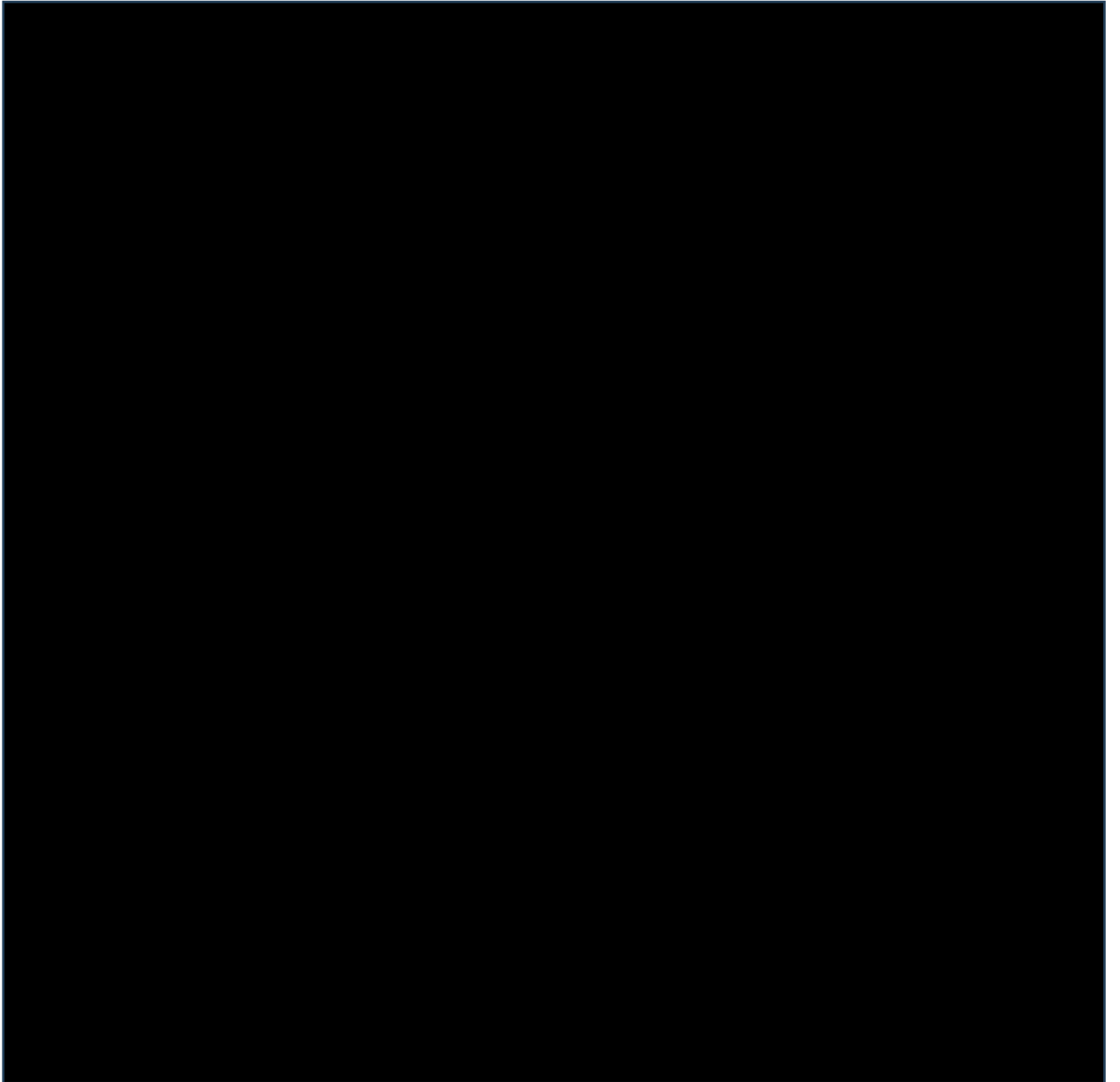
1. 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
2. 問題冊子は全部で7ページである。脱落のあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙（3枚）及び下書き用紙（3枚）は別に配付する。脱落のある場合には申し出ること。
4. すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 解答に字数の制限があるときは、句読点や記号も含めて数えること。
7. 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とすることがある。
8. 解答用紙の裏面は計算等に使用してもよいが、採点はしない。
9. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
10. 解答終了後、配付された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。
11. 本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

第1問

以下の文章を読み、文中に描写されている一連の空間を想像し、そのイメージを視覚的表現手段（絵、イラスト、スケッチ、マンガ、間取り図・平面図・断面図・透視図などの図、あるいはそれらの組み合わせ）により、第三者が理解できるよう描写しなさい。補足的に文字による説明等を加えてもよい。

この問いは、文中の空間描写を正確に描くことだけを評価するものではない。あなたが文中から読み取って想像する一連の空間のユニークさやそれを第三者に伝えるために用いた視覚的表現手段のユニークさも評価する。





<間取りと妄想（大竹昭子著、ハルキ文庫、2025 年 5 月 18 日）より抜粋>

第2問

人間と環境が共に健康で持続可能に生きるための住環境デザインに関する【新聞記事1】【新聞記事2】を読んで、以下の問いに答えなさい。

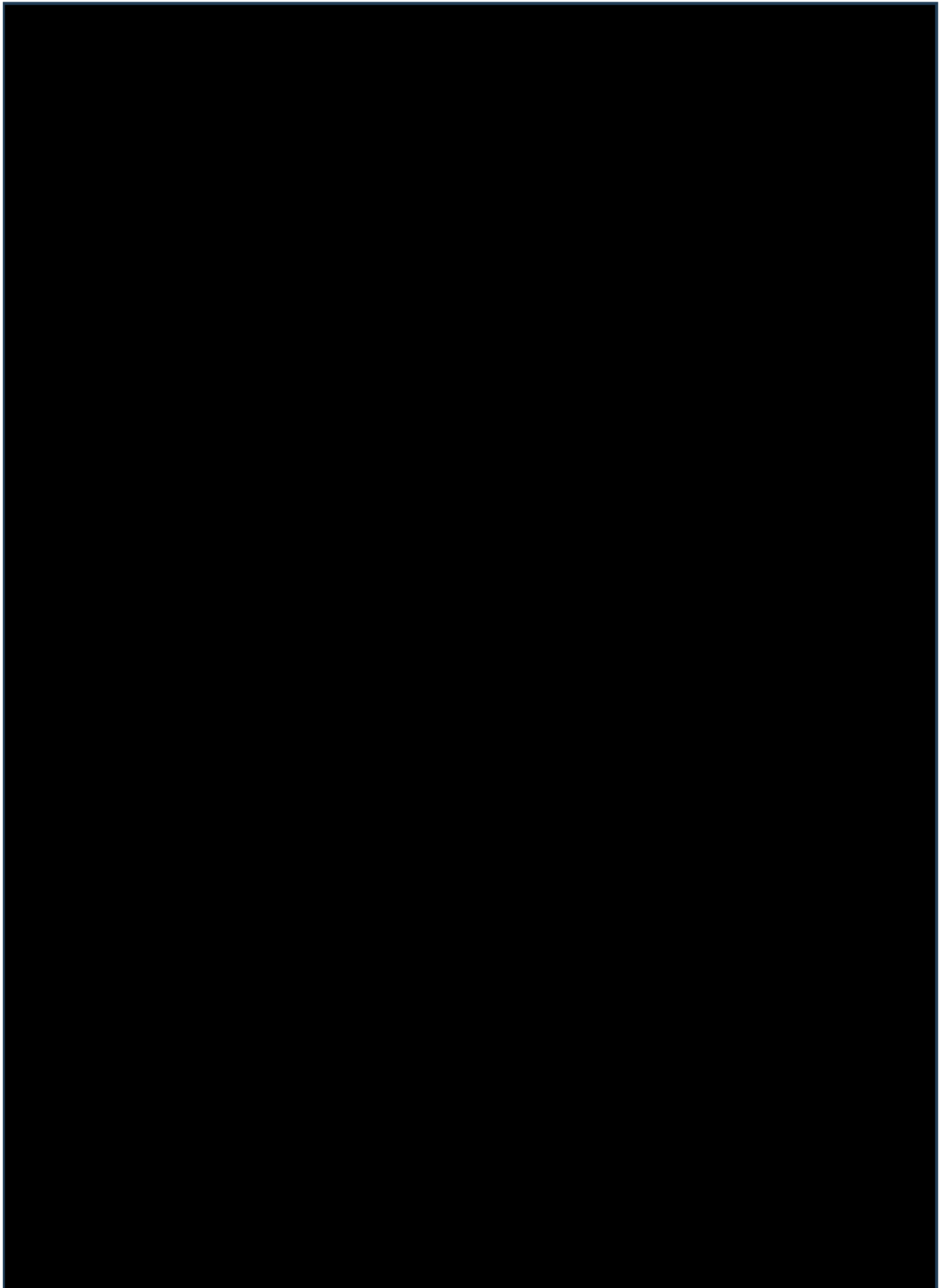
問1 【新聞記事1】の「Biophilic Design（バイオフィリアの考え方をを用いたデザイン）」と【新聞記事2】の「LCCM住宅」を比較し、それぞれの特徴が明確になるように、以下の観点について説明しなさい。

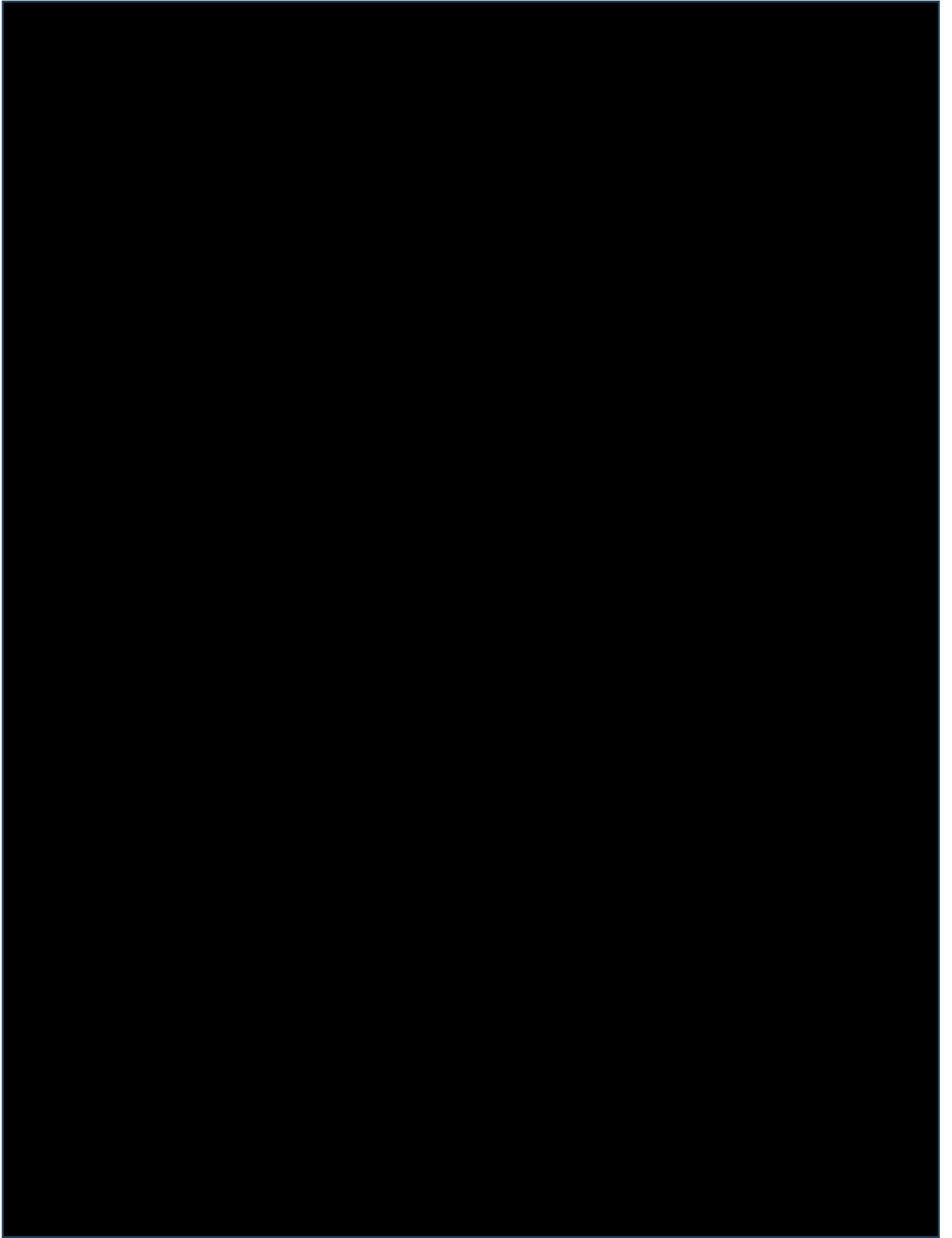
- i) 目的
- ii) 人間への影響
- iii) 環境性能
- iv) 設計手法

問2 都市化が進む現代社会において、建築に関わる設計者・技術者は、人間と自然の関係をどのように再構築すべきか。「Biophilic Design」または「LCCM住宅」の考え方をを用いて論じなさい。

問3 建築環境工学では、温熱・光・空気・音環境などを通して、人間の快適性と環境負荷低減の両立を目指している。今後の住環境において、「快適性」と「脱炭素化」を両立するためには何が必要か。建築環境工学の視点から論じなさい。

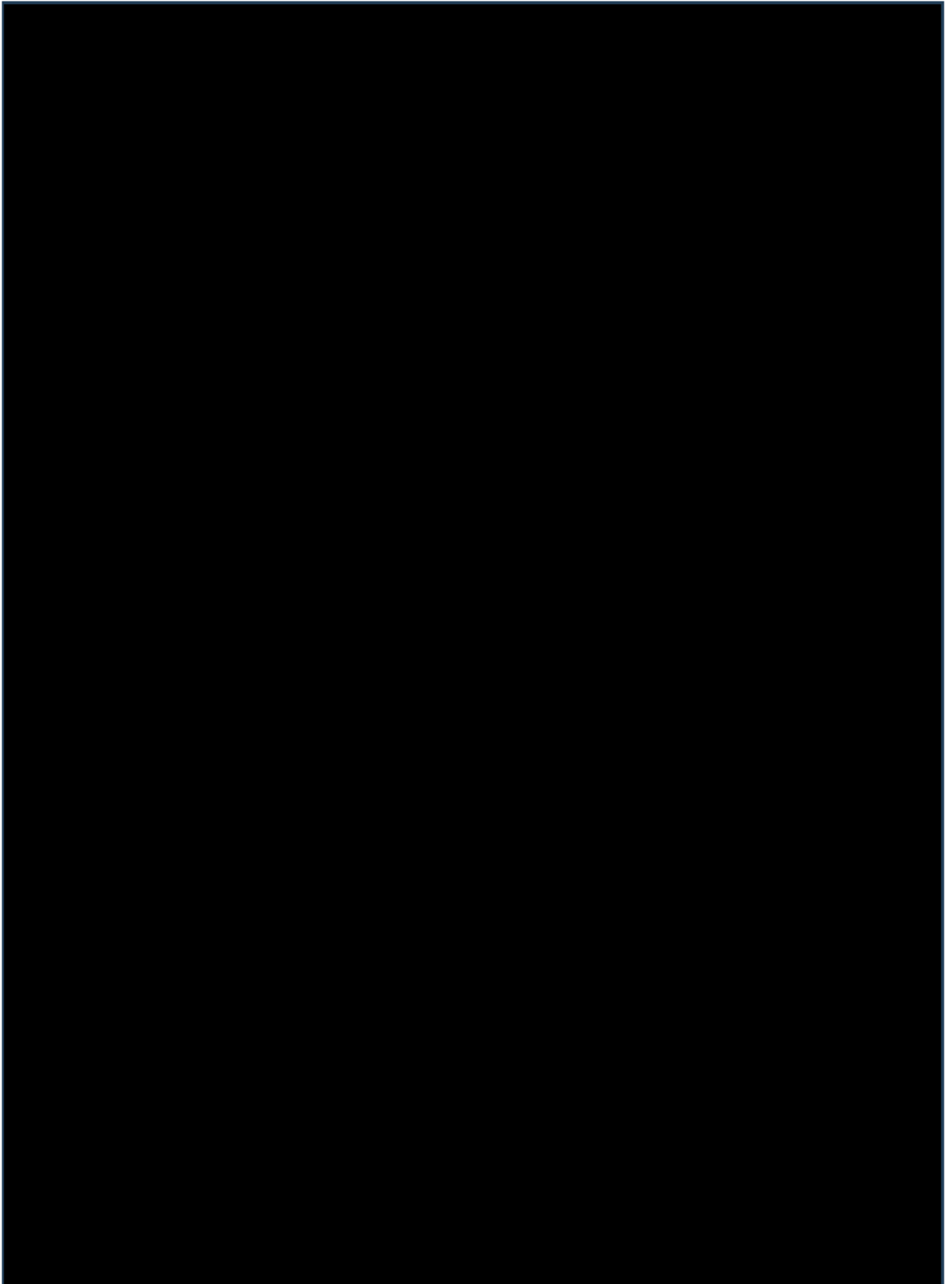
【新聞記事 1】

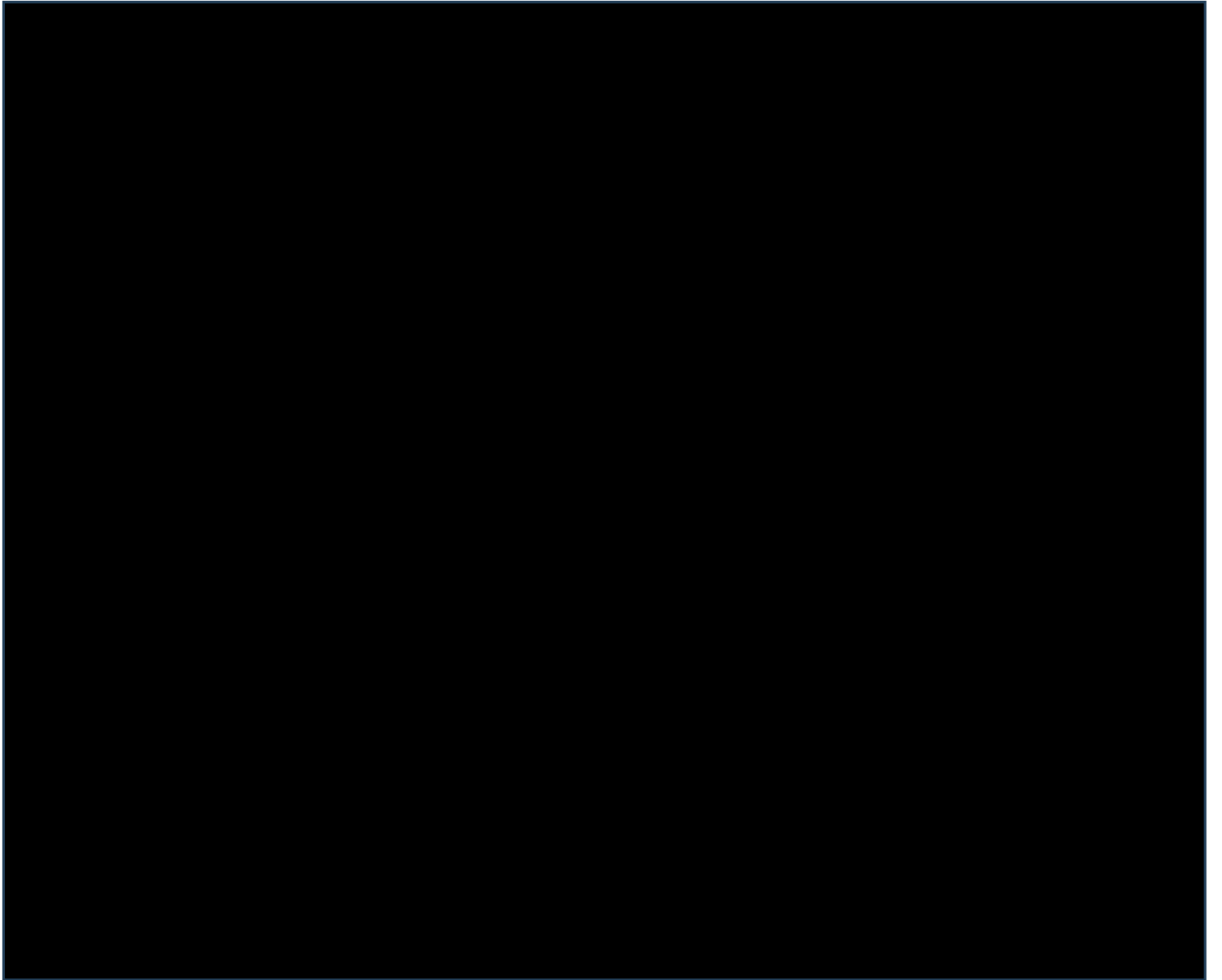




<朝日新聞 GLOBE+ (2020 年 7 月 24 日) より抜粋>

【新聞記事 2】





<朝日新聞 GLOBE+ (2024 年 2 月 29 日) より抜粋>